

平成26年第2回（6月）定例会一般質問

届出 順	議席	発言事項	要 旨	答弁者	備考
1	1 番 (松林)	①地域の資源を活かした振興策の考えはあるのか  ②津波避難タワーの計画について  ③インターロッキング舗装の今後の計画はないのか  ④脳卒中になった方への対策と福祉用具の活用などについて  ⑤霊巖寺に戦没者322人の御霊の建立はできないのか	(1)奈良県の長谷寺の花について (2)泉南市のレビットバラ園について (3)健康水の利用について (4)タマで有名な貴志川線の貴志駅について  (1)津波避難タワーの建設計画と概要は (2)建設場所は (3)建設の財源は  ・平成19年12月に発注した湯浅広港線のインターロッキング舗装を道路改修時において進める予定はないのか。  (1)介護機や介護用品の利用状況など (2)脳梗塞や脳出血の病気にかかれた方の対策は  ・現在霊巖寺に置かれている御霊を今後町でどうしていくのか。	町 長  〃  〃  住民生活課長  町 長	
2	3 番 (岡崎)	①津波防災について	(1)防災対策事業の計画及び防災対策を推進するため「広川町防災対策実行委員会」の設置を・・・	町 長	

		②学校給食について	<p>(2)稲むらの火の館の防災センターが避難所となっているが、常時開放にするため外階段を設置できないか。門扉は非常時に壊せる工夫を</p> <p>(1)学校給食の教育的な位置づけはどのように考えているのか。</p> <p>(2)食材として地場産物利用の現状は</p> <p>(3)地産地消の観点から地場産物の利用割合の目標はあるのか。</p> <p>(4)第3子以降の学校給食費を無料化にできないのか。</p>	教 育 長	
3	6 番 (沖)	<p>①津波避難について</p> <p>②ほたるの湯入浴割引カードについて</p> <p>③ハンター高齢化対策について</p>	<p>(1)住民の避難行動意識を把握しているのか。</p> <p>(2)災害時要援護者の方々の支援体制づくりは</p> <p>(3)避難訓練の頻度、夜間の訓練は</p> <p>(4)避難施設建設の見通しは</p> <p>(5)身近な高台は確保されているのか。</p> <p>(6)避難道整備は出来ているのか。</p> <p>(7)公用車の啓発活用（ステッカー貼付）を考えては</p> <p>・要件見直しをする考えはないのか。</p> <p>・公務員ハンターを育成する考えはないのか。</p>	町 長	
4	4 番 (奥)	・三重県大紀町と和歌山県串本町の津波先進地事例の活用について	<p>(1)今後広川町の防災に対してどのような考えで取り組んでいくのか。</p> <p>(2)防災対策として役場の宿直者を民間人と職員の2名体制にしてはどうか。</p>	町 長	

5	9 番 (檜原)	・国土強靱化の「課」若しくは「班」の設置について	・広川町濱口梧陵翁の「稲むらの火」の町だからこそ全国に先駆け、防災・減災に向けてハード面とソフト面での研究機関を設置してはどうか。	町	長
---	-------------	--------------------------	---	---	---